

第71号

2026年7月発行



ひのみやぐら

本田消防団だより



令和8年度消防操法大会

令和8年5月17日(日)、令和8年度本田消防団操法大会が東新小岩運動場にて開催されました。

緊張と興奮が高まる中、全16個分団が日頃の訓練成果を発揮した結果、優勝は第3分団、準優勝は第8分団、第3位に第12分団、以下入賞は第7分団、第10分団、第4分団、第13分団、第6分団でした。

選手はもちろんのこと、大会に携わった皆様大変お疲れ様でした。

(団本部)



このたび、28年ぶりの優勝を果たすことができました。週3回の訓練は決して楽なものではありませんでしたが、若い1番員から4番員までが真剣に取り組み、一歩ずつ成長してくれました。28年前の優勝メン

消防操法大会優勝



消防操法大会とは

消防団員が火災時の消火活動を想定し、消防用機械器具の取扱いと基本動作の「安全性」「確実性」「迅速性」を競い合う競技大会です。

日々の訓練の成果を披露し、技術向上や士気を高める目的で開催されます。

第3分団の選手・団員の皆さん 優勝おめでとうございます



バーには今回の2番員のお父さんも出場しており、世代を超えて同じ喜びを分かち合えたことをうれしく思います。

この優勝は選手だけでなく、協力してくださった団員、地域の方々のおかげです。心から感謝申し上げます。

(第3分団 部長 神野雄斗)

優勝 第3分団選手名

指揮者 部長 神野雄斗
 1番員 団員 松尾陽平
 2番員 団員 阿久根幸祐
 3番員 団員 吉良勇希
 4番員 団員 二宮琉
 補助者 団員 木村涼祐

個人賞受賞選手名

指揮者の部	第12分団	副分団長	増田 寿
1番員の部	第8分団	団員	杉浦 和也
2番員の部	第12分団	班長	遠見 直紀
3番員の部	第3分団	団員	吉良 勇希
4番員の部	第16分団	班長	古晒 貴光

個人賞受賞者から

コメントを頂きました!!

指揮者の部

第12分団 副分団長 増田 寿

今回、急遽前任の指揮者の代わり
に出場することとなりました。本番
直前の怪我で一番悔しい思いをし
ている前任の気持ちを背負い、精一
杯の声を出して臨みました。

今回、新チーム一丸で掴んだ「第
3位」と、自身4度目の個人賞をい
ただき光栄に思います。

今回の大会で痛感したのは、「怪
我をしない体づくり」の大切さです。
消防の姿勢・一人を大切にする精神
は、普段の仕事に対する正しい生き
方に活かせると確信しています。消
防団経験を積み重ね、怪我なく迅速
に動ける第12分団を目指して今後
も精進します。

1番員の部

第8分団 団員 杉浦 和也

本年度の消防操法大会では準優
勝、また個人賞をいただく事ができ
ました。今年の選手構成は、1・2
番員が初番手、3番員は新入団員と
いう挑戦的なものでした。訓練開始
当初は不安もありましたが、指導者
の熱心なご指導と、歴代選手の先輩
方からの的確な助言で、一歩ずつ成
長する事ができました。

また、多くの団員が準備や撤収等
を担ってくださり、選手は訓練に集
中できました。分団の支えとチーム
ワークこそが強みであり、結果に繋
がったと感じています。

ご指導、ご支援いただいた皆様に
心より感謝申し上げます。

2番員の部

第12分団 班長 遠見 直紀

操法大会においてチームで3位、
さらに個人賞をいただき大変光栄
に思います。今年は各番手が未経験
者でのスタートでした。途中でメン
バーが変わるアクシデント等、十分
な訓練ができない悔しさもありま
したが、互いに支え合いながらこ
まで来ることができました。

この結果はチーム全体の努力の

結晶です。共に励ましあった第12
分団に心から感謝いたします。

3番員の部

第3分団 団員 吉良 勇希

私は1年目に5位、2年目に3位
という結果で、あと一步届かず悔し
い思いをしてきました。その悔しさ
を力に変えて訓練を重ね、今年よう
やく優勝と個人賞をいただくこと
ができ、第3分団としては大変光栄
に思います。この結果は私一人の力
ではなく、熱心に指導してくださっ
た皆様と、共に頑張ってきた仲間た
ちのおかげです。支えてくださった
全ての方に感謝し、今後も消防団員
として地域のために頑張っていき
ます。



4番員の部

第16分団 班長 古晒 貴光

このたびは個人賞をいただき、大
変光栄に思います。日頃からご指
導・ご支援いただいた分団の皆様、
そして共に訓練に励み大会に臨ん
だチームメイトに心より感謝申し
上げます。

操法大会は私にとって「大人の部
活動」のような存在であり、厳しい
訓練の中にも仲間と力を合わせる
楽しさがありました。まだまだ至ら
ぬ点も多く、今後も鍛錬を重ねてい
く所存です。操法で学んだ技術や規
律、連携は、実際の災害や火災対応
の場でこそ活かされるものだと考
えています。

これからも地域の安全安心を守
るため、消防団活動に努めてまいり
ます。





消防庁長官表彰 永年勤続功労賞

本田消防団副団長の白田貢一様が、令和7年度消防庁長官表彰で永年勤続功労賞を受賞されました。

長きにわたり、地域の防災に献身的にご尽力された功績が認められ受賞されたものです。
(団本部)

第78回

日本消防協会定例表彰

功績章

第14分団 副分団長 天野 都子

勤続章

第7分団 分団長 玉木 孝和
第2分団 副分団長 軍司 國廣
第3分団 副分団長 阿久根 正幸
第3分団 副分団長 行木 秀仁
第14分団 副分団長 秋山 徳雄
第7分団 部長 鈴木 章友
第9分団 部長 吉田 正典
第9分団 部長 熊谷 仁
第11分団 部長 佐野 千可子
第16分団 部長 岡田 晃治
第8分団 班長 宮下 弘子

令和7年度 東京都消防協会定例表彰

功労賞

第6分団 副分団長 藤田 広満
第7分団 副分団長 井岡 進
第8分団 副分団長 寺岡 一光

優良賞

団本部 部長 浅野 貴美子
団本部 部長 野田 裕子
第2分団 部長 植木 敦
第3分団 部長 鈴木 昭
第4分団 部長 島田 和幸
第4分団 部長 鈴木 正和
第11分団 部長 佐野 千可子
第11分団 部長 佐藤 光義
第16分団 部長 山本 泰央

第3回本田消防団 ボウリング大会開催

令和8年2月22日(日)、『本田消防団ボウリング大会』が開催され、各分団と団本部の方々総勢78名が新小岩サニーボウルにて集まり、和やかな雰囲気の中、ゲームが始まりました。

各レーンでは、ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がりハイタッチ。とても盛り上がりっていました。

プレー終了後は、古代の湯にて成績発表を兼ねた懇親会が開催されました。

団体戦の部では第6分団、個人戦男性の部は第5分団の山村純一郎

長、女性の部は第5分団の高柴幸子部長が優勝をしました。(団本部)

【個人戦表彰】

【団体戦表彰】



普段あまり関わる機会のない方々とも交流しながら楽しく参加でき、その上優勝までできてとても嬉しかったです!!
これからも消防団活動に精進します!

(第6分団 団員 中村 諒治)

消防団員募集

入団資格

18歳以上の健康な方

消防団の区域に居住・勤務・通学している方

詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

<https://tokyo23city-swoboden.jp/>

東京消防団

令和8年3月7日(土)
ほんでん消防フェスティバル開催



募集委員の活動に参加させて頂いて約1年、ほんでん消防フェスティバルには初めての参加となりました。場所が「にこわ新小岩」に移ったことで、出動のデモンストレーションは実際の建物から要救助者を救出するという、リアルで臨場感あふれる形で行われ、来場者の皆様に私たちの活動を知って頂く良い機会となりました。

個人的に新小岩地域は仕事帰りの飲食で良く出歩いているのです。そこで



知り合った方々にも来場頂き、活動服を着た姿を見て頂くことで、普段

と異なる「かつこいい消防団」のアピールにも繋がったと感じています。

(第10分団 団員 田上 満照)



初級幹部研修を通じて 学んだ指揮と安全管理

初級幹部研修を受講し、責務と安全管理の重要性、そして火災現場における情報の交通整理と安全な部隊運用について学びました。

現場指揮要領訓練では、情報収集や優先順位の判断、団員への下命の難しさを実感し、自身の経験と訓練不足を痛感しました。

全てをすぐに実践することは難しいですが、まずは団員同士が意見を出しやすい風通しの良い分団づくりを目指し、その中で判断力や指揮能力を高めながら、団員と地域住民の安全を守る幹部になれるよう努力していきたいと思っています。

(第12分団 班長 茂木 年男)

令和8年度 葛飾区第七消防方面 合同水防訓練

令和8年6月6日(土)、荒川左岸河川敷、堀切水辺公園において水防訓練が実施されました。

葛飾区、第七消防方面内の消防署、本田・金町消防団、東京都下水道局など関係機関が参加し、浸水被害を防ぐ工法やドローンを活用した状況確認、ヘリコプターやはしご車を使つての本番さながらの救助活動などが実施されました。(団本部)



地域の安全を守るため

近年、大型化する台風や豪雨など、水害のリスクは年々高まっています。いざという時に迅速・的確に動くよう、伝統的な積み土の工法の習得と、我々団員相互の連携強化を図る重要な訓練です。

地域の皆様の生命と財産を守る

初めての合同水防訓練

という使命を胸に、高い緊張感を持って訓練に全力で取り組みました。(第15分団 班長 山口 裕司)

今回、水防訓練に参加し、水害から地域を守るための活動について理解を深めることができました。実際に土のう作りや積み方方の訓練を体験し、一つ一つの作業が浸水被害を防ぐために重要であることを実感しました。



また、消防や自治体、自主防災組織の方々が連携して活動している様子を見て、災害時には多くの人の協力が必要であることを学びました。

た。訓練を通して、防災に対する意識が高まり、自分自身も地域の一員として災害への備えをしていきたいと思いました。

今回の経験は非常に貴重であり、今後も防災訓練に積極的に参加していきたいと感じました。

(第14分団 団員 加藤 一章)